

下松市・記者発表（配布）資料

令和7年10月31日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先（直通）
教育委員会 生涯学習振興課	戸高 孝文	新谷 大輔	0833-45-1870
1. 件 名	全日本ロボット相撲全国大会出場報告について （市長表敬訪問）		
2. 日 時	令和7年11月7日（金）16時30分～		
3. 場 所	下松市役所 3階 市長応接室		
4. 主催者	下松市教育委員会		
5. 内 容	令和7年12月6日（土）・7日（日）に東京都墨田区（国技館）で 開催される「全日本ロボット相撲全国大会」への出場報告のため、市 長表敬訪問を行うもの。 【次 第】 受賞報告 市長お祝いのことば ロボット相撲（実演）予定 歓談 写真撮影		
6. 訪問者	下松工業高等学校 校長 原田 成光 ロボット研究部 顧問 中元 航平 【出場名・出場者氏名・学年・四股名】 500g クラス 自立型 松友 一峰（1年）長嶋さん 500g クラス ラジコン型 津田 昊輝（1年）黒白黒 500g クラス ラジコン型 高松 煌河（2年）大納言あずき 500g クラス ラジコン型 古谷 鳳賀（2年）超超いちご 500g クラス ラジコン型 玉野 洲一（3年）魔王号 500g クラス ラジコン型 中元 航平（27歳）韋駄天		

全日本ロボット相撲大会2025

開催要項

1. 趣 旨

高等学校生徒並びに大学、高等専門学校、専門学校等の学生、一般社会人に、ロボット作りを通じて技術の基礎・基本を確実に習得させるとともに、技術研究の目標と実際に問題解決する体験の機会を与え、もって生徒・学生等の学習意欲の向上と自発的、創造的な学習態度の育成に資する。併せて、海外からの選手招致により国際的な広い視野を養い、海外に通用する人材の育成、新技術への関心と夢を育み、ロボット技術の向上を目指す。

2. 大会運営の概要

- (1) 全国を地区に分け、地区大会（予選）を実施する。地区大会は、高校生だけでなく大学生・高等専門学校生・専門学校生・社会人及び一般愛好家の参加も得て、別に定める日程（土曜・日曜）にて、地区大会に所在の高等学校体育館等を借用して実施することを原則とする。
- (2) ロボット力士は自立型とラジコン型の2種とし、それぞれ予選・決勝を行う。
- (3) 地区大会には高校の部と全日本の部があり、高校の部は高校生のみが参加とし、全日本の部は高校生も含む誰でも参加ができる。
- (4) 高校の部については、地区大会にて「高校生ロボット相撲全国大会」の出場予選、並びに上位の力士を選出する。選出数は地区により異なり、別に示す。
- (5) 全日本の部については、地区大会にて「全日本ロボット相撲全国大会」の出場予選、並びに上位の力士を選出する。また、主催者が公認する海外大会上位入賞者と各国代表の招致選手を加える。

3. ロボット規格及び試合方法の概要

以下に示すほか詳細については、別に定める「試合規則」による。

(1) ロボット力士の規格

- ① ロボット力士の外形は、3kg クラスは幅 20 cm、奥行き 20 cm、500g クラスにおいては幅 10 cm、奥行き 10 cm、高さ自由の四角形枠内に収まるものとする（形状は自由）。
- ② ロボット力士の体重は付属部品を含めて、3kg クラスでは 3kg 以内、500g クラスでは 500g 以内とする。
- ③ ロボット力士は、自立型・ラジコン型の2種とする。
自立型とは、審判の合図で取組を開始する際、審判がリモコンでロボットのスタートを指示した後、ロボット自身が人手を介さず行動を開始するものである。
ラジコン型とは、参加者が無線制御機を用いてロボットを遠隔操作するものである。
- ④ 自立型の制御方法は自由とする。ただし、スタート及びストップについては、事務局が指定する制御に合わせて動作するものとする。
- ⑤ ラジコン型での使用電波は、2.4GHz、27MHz（01～12）のナローバンドまたは 40MHz（61、63、65、67、69、71、73、75 バンド）の陸上用とする。
- ⑥ なお、ロボット力士には、製作者が6文字以内の「しこ名」をつける。

(2) 試合の定義と土俵規格

- ①試合は試合者（ロボット操作員は 1 台のロボットにつき 1 名とし、3kg クラスでは別途 1 名の補助員をつけることができる）双方が試合規則に従って、定められた土俵内において、試合者が独自に製作したロボットを用いて相手を土俵外に押し出したものを勝ちとする。また、土俵内で有効決まり手（試合規則による）を競い、審判員の判定により勝敗を決めるものである。
- ②試合は 3 分間 3 本勝負とする。
- ③試合方式は自立型、ラジコン型ともトーナメント方式による。
- ④土俵は 3kg クラスにおいては高さ 5 cm、直径 154 cm のアルミ製板の上に黒色の鋼板（厚さ 1.6mm）を 32 本のボルトで止めた円形とする。
500g クラスにおいては高さ 2.5cm、直径 77 cm の木製（メラミン塗装もしくはメラミン化粧板）の円形とする。
- ⑤土俵内には仕切り線を設ける。土俵内外の区画線は 3kg クラスにおいては幅 5 cm、500g クラスにおいては幅 2.5cm の白色線（白色線は土俵内）とする。

4. 地区大会（予選会）

(1) 主 催

富士ソフト株式会社、公益社団法人全国工業高等学校長協会

(2) 後 援

開催都道府県教育委員会

(3) 大会概要

- ①全国を次の地区に分け、地区大会（予選会）を開催する。
参加見込み及び開催地区の状況を勘案し開催地区を変更する場合がある。
北海道大会、東北大会、北信越・東海大会、関東大会、近畿大会、
中国・四国大会、九州大会
- ②参加者の範囲
 - ・高 校 の 部：高等学校生徒
 - ・全日本の部：誰でも参加可能（高等学校生徒を含む）
- ③高校の部では、「高校生ロボット相撲全国大会 2025」（高校生のみ）への参加ロボット力士を選出する。選出台数は別に定める。
- ④全日本の部では、「全日本ロボット相撲全国大会」への参加ロボット力士を選出する。選出台数は参加申込数により確定し、詳細は別に定める。
- (4) 地区大会開催会場、開催日、全国大会への選出台数は別に定める。
ただし、日程/会場は、都合により変更することもある。
- (5) 申込要領、申込先
 - ①申込は、インターネットにて行う。高校の部、全日本の部とも全日本ロボット相撲大会ホームページに用意された登録フォームより必要事項を入力し、以下の期日までに申し込む（厳守）。
申し込み：令和 7 年 7 月 31 日まで（高校の部、全日本の部）
ホームページ URL: <http://www.fsi.co.jp/robot/>
 - ②申込に必要な登録料はロボット 1 台につき 3,000 円とし、全日本ロボット相撲大会事務局が指定した銀行口座に振り込む。ただし、学生・生徒及び中学生以下は無料とする。
 - ③申込は操作員 1 名につき 1 台（全日本の場合は複数地区大会への登録は可能とするが、全国大会進出が決定した後の地区大会への出場はできない。
高校の部の場合は、所属地区大会への登録のみとし、1 校自立型、ラジコン型の部門ごとに複数地区大会への登録は認めない。）。

5. 「高校生ロボット相撲全国大会」 (決勝大会)

- (1) 主 催
公益社団法人全国工業高等学校長協会
- (2) 後 援 (申請予定)
文部科学省、経済産業省
公益財団法人産業教育振興中央会
- (3) 協 賛
富士ソフト株式会社
- (4) 開催日
令和 7 年 11 月 22 日 (土)
- (5) 会 場 (予定)
ビッグパレットふくしま
福島県郡山市南二丁目 5 2
- (6) 参加者
自立型、ラジコン型とも地区大会 (予選会) における高校生上位各 32 台
(計 64 台) により、自立型、ラジコン型それぞれトーナメント方式により
決勝戦を行う。
- (7) 表 彰
賞 状 : 文部科学大臣賞 (予定)
経済産業大臣賞 (予定)
公益財団法人産業教育振興中央会長賞 (予定)
公益社団法人全国工業高等学校長協会理事長賞 (予定)
副 賞 : 富士ソフト株式会社賞
- (8) その他
感染症の影響等により、開催中止となった場合は、各都道府県の代表となるロ
ボットについて相撲ロボット製作コンテストを実施する。

6. 「全日本ロボット相撲全国大会」 (決勝大会)

- (1) 主 催
富士ソフト株式会社
- (2) 後 援 (申請予定)
文部科学省
公益社団法人全国工業高等学校長協会
- (3) 開催日
令和 7 年 12 月 6 日 (土)、7 日 (日)
- (4) 会 場
国技館 (東京・両国) (予定)
東京都墨田区横網 1-3-28
- (5) 参加者
地区大会 (予選会) を勝ち抜いたロボット力士及び主催者が公認する国内・海
外大会上位入賞者と各国代表者により、自立型、ラジコン型それぞれトーナメ
ント方式により決勝戦を行う。
- (6) 表 彰
賞 状 : 文部科学大臣賞 (予定)、文部科学大臣杯 (予定)
富士ソフト株式会社賞
副 賞 : 富士ソフト株式会社賞

以 上